

～鳥取型「新しい生活様式」実践向け～

令和3年3月25日作成
鳥取県くらしの安心推進課

地域イベントにおける **新型コロナウイルス感染拡大予防対策例**

○このガイドラインは、自治会等が主催し地域で行う主に小規模なイベント(以下、「地域イベント」と呼びます)を実施する際の新型コロナウイルス感染予防対策を示しました。

地域イベントの例:各種の会合、花見、納涼祭、盆踊り、運動会、敬老会、文化祭、餅つき等

○地域イベントであっても全国から見物客が見込まれるような場合は、従来の3つのガイドライン(公演イベント・スポーツイベント・販売促進イベント)を参考に対策を行ってください。

イベントガイドラインを含む、県が作成した各種のコロナ対策ガイドラインはこちらのページを参考にしてください

<https://www.pref.tottori.lg.jp/291731.htm>



○イベントにおける新型コロナウイルス感染予防対策についてのご相談は、次の窓口をお願いします。

地区	窓口	電話番号
東部	県庁くらしの安心推進課 (〒680-8570 鳥取市東町一丁目220)	0857-26-7982
中部	中部総合事務所生活環境局 (〒682-0802 倉吉市東巖城町2)	0858-23-3982
西部	西部ワンストップセンター (〒683-0054 米子市糺町一丁目160)	0859-31-9637

※①全国なイベント、②参加者が1000人を超えるイベントは、開催にあたり県の上記窓口へ届出をし、感染対策の相談を行ってください。

1 企画・準備

(1) 会場規模と開催内容

地域イベントの開催にあたっては、会場の広さにあわせてイベントの開催内容を検討したり、例年より広めの会場を選んだりしましょう。飛沫感染を防ぐため、人と人との距離(フィジカルディスタンス)の確保が必要です。

- ▶ 参加者がマスクを着用し声を発しない場合は、人と人が接触しない程度の間隔を取ってください。その他、声援や歌唱、飲食の状況により必要な間隔は異なりますので、4ページ以降に記載の個別のイベント場面の対応を参考にしてください。

※県内の新型コロナウイルス感染症の流行状況により、イベント開催に制限が設けられる場合があります。イベント開催にあたっては、県やイベント会場の市町村のホームページ等を確認し、開催の是非を判断してください。

参考:「新型コロナウイルス感染症対策分科会が提言した「ステージ移行を検知する6指標」と鳥取県の現状」

<https://www.pref.tottori.lg.jp/item/1209715.htm#itemid1209715>



(2) イベントの企画

イベントの企画の段階で以下の2や3に記載の新型コロナウイルス感染症対策が実施できるように考慮しながら、従事者の確保、参加者数、開催時間などを検討しましょう。

イベントの企画にあたっては、次のようなことを事前に確認し、具体的な感染対策に取り入れましょう。

- ① 会場の換気設備や窓の配置を確認しましょう
- ② 会場の広さ、参加者の動線を確認しましょう
- ③ 会場が求める新型コロナウイルス感染症対策を理解しましょう
- ④ 開催案内を行う場合は、コロナ対策の実施と実施内容への協力を周知しましょう
- ⑤ 緊急時(体調不良者発生時)の対応方法を決めておきましょう

2 各種イベントに共通する対策

(1) 換気方法(屋内イベントの場合のみ)



- ・ 換気設備を常時稼働したり、定期的に扉や窓を開けるなど、会場全体の換気をしましょう。
 - ▶換気回数や換気時間を予め設定しましょう。
 - ▶空気の流れる吸込口(入口)と吹出口(出口)を意識して空気を入れ替えましょう。
 - ▶扇風機やサーキュレーターで空気の入替えを促進したり、奥まった部分に新鮮な外気を送ったりすることも有効です。
- ・ 準備や片付けの時間は大きく窓を開けるなど、しっかり換気をしましょう。

(2) 消毒



- ・ 施設や会場の出入口等にアルコール消毒液を設置し、参加者に手指消毒を行うように掲示などでお願ひしましょう。
 - ▶手指消毒の代わりに、ハンドソープを使った手洗いも有効です。
- ・ ドアノブ、水栓、共用する器具等の多くの参加者が触れる部分は定期的に拭き取り清掃・消毒しましょう。
 - ▶消毒薬は用途に応じて適切なものを選び、使用方法も確認しましょう。

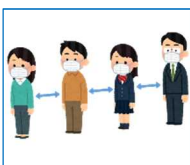


参考:新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について

(厚生労働省・経済産業省・消費者庁特設ページ)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/syoudoku_00001.html

(3) 人と人との間隔(フィジカルディスタンス)の確保



- ・ 行列が想定される場所では密集して並ばないように、床にテープを貼る等で目安を示したり、距離をとっていただくよう掲示・声かけをしましょう。
 - 例:受付、会場入口、トイレ、屋台の前、抽選会場
- ・ 受付や会計など、参加者と対面となる場所では透明ビニールカーテン等で遮蔽するなど、参加者と直接対面になることを避けましょう。

- ・トイレ前やイベント終了後の出口などで参加者が密集しないように、掲示したり放送などで呼びかけたりしましょう。

(4) 参加者への案内



- ・発熱や咳、咽頭痛等の症状のある参加者には来場いただかないよう呼びかけ・掲示を行いましょ。

▶可能であれば、非接触型体温計で参加者に体温測定をお願いしましょ。



- ・参加者にマスクを常時着用(飲食時や負荷の高い運動時を除く)いただくよう呼びかけ・掲示を行いましょ。

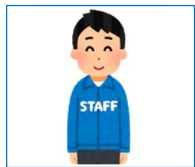
- ・参加者が騒いだり、大声を出したり、過度な飲酒をしないよう呼びかけましょ。

- ・接触確認アプリ(COCoA)の利用を呼びかけるポスターを掲示しましょ。
▶地域イベントなので顔見知りの参加者も多いと思いますが、可能であれば参加者の氏名や緊急連絡先も把握しましょ。

- ・想定した集客数を超える入場にならないよう、入場制限も実施しましょ。

- ・以上の内容は参加者を募集するポスター、チラシ、回覧文書にも記載し、事前に参加者にお知らせしましょ。

(5) イベント関係者



- ・従事者の体調を確認し、発熱や咳、咽頭痛等の症状がある従事者は参加しないように周知しましょ。

- ・従事者が感染した場合や濃厚接触者と判断された場合は、該当従事者は保健所の指示に従い行動するよう周知しましょ。

- ・従事者は常時マスクを着用しましょ。

- ・従事者等、イベント関係者の緊急連絡先を把握しましょ。

▶イベント関係者に感染が疑われる場合には、保健所等の調査に協力しましょ。

(6) その他



- ・洋式トイレは、蓋を閉めて汚物を流すよう掲示を行いましょ。

- ・トイレや洗面所のハンドドライヤーの使用は控え、ペーパータオルを設置しましょ。

- ・使用後のペーパータオルは蓋つきのゴミ箱に入れて密閉し、ゴミ出しを行う場合は、マスクや手袋を着用しましょ。マスクや手袋を外した後は必ず手を洗いましょ。

- ・参加者や従事者が休憩や喫煙を行う場合も、距離をとったり対面とならないようにするなど、休憩場所や喫煙場所の利用方法を検討しましょ。

3 イベントの種類に応じて必要な対策例

(1) 受付



- ・ 受付をする従事者は、必ずマスクを着用しましょう。また直接の対面を避けるために透明ビニールカーテン等での遮蔽を検討しましょう。
- ・ パンフレット等の配布物は手渡しで配布することを避けましょう。

(2) 飲食スペース(会食の会場、屋台の料理を食べる場所など)



- ・ 斜め向かいに椅子を配置したり、対面となる場合はついたて板等を設置するなど、間隔^{*}を確保できる配席にしましょう。
- ・ 席を設けない場合は、間隔^{*}を取っていただくよう掲示したり、床にテープを貼る等で目安を示しましょう。

※家族等の日常生活を共にしている方は、間隔の確保は必須ではありません。グループ間の距離をとってください。



- ・ 酒類を提供する場合は、グラスをあわせる乾杯や回し飲み、深酒を控えるよう、事前の案内や掲示などで呼びかけましょう。
- ・ テーブル・椅子等、多くの参加者が触れる部分は定期的に拭き取り清掃・消毒をしましょう。
- ・ 使用済みの容器を会場で捨てる場合は、蓋つきのゴミ箱を設置しましょう。

(3) 講演会・発表会・舞台・ステージ・カラオケ



- ・ 施設内の換気、マスク着用(演出上支障ない限り)を徹底しましょう。
 - ▶カラオケ、合唱など、大きな声を出す場合は特に注意してください。
- ・ ステージと観覧スペースの間は、最低2m(出演者が声を発する場合)を確保しましょう。
- ・ 出演者同士も演出上支障ない範囲で間隔を確保しましょう。



- ・ 観覧スペースでは、次のように観客の距離を確保してください。
 - ▶応援席(声を出す席)と観覧席(声を出さない席)を分けることも有効です。
 - 観客が声援や歌唱を行う場合
 - 固定席がある場合:グループ間で1席空けて座りましょう
 - 固定席がない場合:グループ間で1mの距離を空けましょう
 - 観客や参加者が静かに視聴する場合
 - 固定席の場合:間隔を空けず座って構いません
 - 固定席がない場合:隣の人と接触しない程度の間隔としてください
- ・ 握手等の接触、声援を求める、客席の通路を使う等の演出は控えましょう。

(4) 屋台・出店・体験コーナー



- ・ 各ブースの前に、参加者が間隔(グループ間が最低1m)をあけて並べる十分な空間を設け、床にテープを貼る等で目安を示しましょう。
- ・ 受付、会計など、従事者と参加者が対面する場所では透明ビニールカーテン等で遮蔽するなど、参加者と直接対面になることを避けましょう。

- ・ 金魚すくい、フリーマーケットなどでは、参加者同士が密集しないように入店制限をしたり、掲示や呼びかけを行いましょう。
- ・ 従事者は常時マスクを着用し密集を避けるよう作業内容を工夫しましよう。
- ・ 接触(マスコット等との記念撮影)や大声での呼びこみ等は控えましよう。
- ・ お金を取り扱う場合は手渡しを避け、トレイに置いて受け渡しましよう。

(5) スポーツ大会・運動会・花見



- ・ 競技スペースと観覧スペースの間は、最低2m(競技者等が声を発する場合)を確保しましよう。

- ・ 観覧スペースは、グループ間の間隔を接触しない程度にとりましよう。

▶ 声援や応援歌は控え、拍手などで応援しましよう。

※声援を送る場合は周囲の人と1m以上の間隔を空けましよう。

▶ お弁当を食べる際は、グループ間を背中合わせにする、会話は控えめにするなど、注意してください。

▶ 花見等の飲酒の場面では、グラスをあわせる乾杯や回し飲み、深酒を控えるよう、事前の案内や掲示などで呼びかけましよう。

- ・ トイレや出入口など、密集しやすい場所は間隔をあけていただくように掲示などで呼びかけましよう。

以上のガイドラインを参考に、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら地域の方に楽しんでいただけるイベントとなるよう、イベントの企画、実施をお願いします。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- ・ 飲酒の影響で注意力が低下する。また、聴覚が鈍磨し、大きな声になりやすい。
- ・ 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- ・ また、回し飲みや箸などの共用は感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- ・ 長時間におよぶ飲食、例えば深夜のはしご酒では、昼間の通常の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- ・ また大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる



場面③ マスクなしでの会話

- ・ マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- ・ マスクなしでの感染例としては、昼カラオケや野外のバーベキューでの事例が確認されている。

場面④ 狭い空間での共同生活

- ・ 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- ・ 寮の部屋やトイレなどの共用施設での事例が確認されている。

場面⑤ 居場所の切り替わり

- ・ 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- ・ 休憩室、喫煙所、更衣室での事例が確認されている。車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



正しい手の洗い方

- 1  流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
 - 2  手の甲をのぼすようにこすります。
 - 3  指先・爪の間を念入りにこすります。
 - 4  指の間を洗います。
 - 5  親指と手のひらをねじり洗います。
 - 6  手首も忘れずに洗います。
- 石鹸で洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

正しいマスクの着用

- 1  鼻と口の両方を確実に覆う
- 2  ゴムひもを耳にかける
- 3  隙間がないよう鼻まで覆う

新型コロナ克服3カ条

- 1 人と人 間が愛だ**
人と人とが約2m離れば、飛沫感染防止で安心！



- 2 三つもの 密だとミスだ**
三つの密（密閉・密集・密接）を回避！



- 3 幸せは 予防で呼ぼう**
こまめな手洗いや咳エチケットで、新型コロナウイルス感染症を予防！



消毒液の種類と用途

主な用途

石けん・ハンドソープによる手洗い 手指

アルコール（60%以上95%以下） 手指
物品

塩素系漂白剤等（次亜塩素酸ナトリウム 0.05%以上） 物品

※ 以下を参考に、市販の塩素系漂白剤（主成分が次亜塩素酸ナトリウムであるもの）を薄めてください。
また、商品によって濃度が異なりますので、商品パッケージやメーカーのHPの説明をご確認ください。

- ①ハイター、キッチンハイター（花王）
水1Lに25mL（商品付属のキャップ1杯）
- ②ブリーチ、キッチンブリーチ（ミツエイ）
水1Lに10mL（商品付属のキャップ1/2杯）

※ 樹脂製の手袋をつけて取扱いましょう。皮膚に付いた場合、ただちに水で洗い流しましょう。

※ 腐食性があるので、金属へ使用した後は必ず水拭きしましょう。

問い合わせ先
新型コロナ克服くらしの
安心相談・応援窓口

東部 県庁くらしの安心推進課 ☎0857-26-7982
中部 中部総合事務所生活環境局 ☎0858-23-3982
西部 西部ワンストップセンター ☎0859-31-9637